

I 調査の概要

1 調査の目的

五所川原市教育委員会では「五所川原市中期社会教育計画」の改定の準備を進めています。

本調査は、社会教育の現状やニーズ等について把握し、この計画を改定するための基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査の設計

- (1) 調査対象 五所川原市に居住する16歳以上79歳以下の男女個人
- (2) サンプル数 800人
- (3) 抽出方法 無作為抽出
- (4) 調査の方法 郵送調査法
- (5) 調査期間 平成30年11月21日～12月20日

3 調査の内容

- (1) 社会教育の認知度について
- (2) 社会教育活動に関する情報について
- (3) これからの社会教育活動における課題について

4 回収状況

- (1) サンプル数 800
- (2) 有効回収率 284
- (3) 有効回収率 35.5%

5 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は原則として回答数(件)と回答率(%)で表記している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、また、複数回答についても回答者数としている。

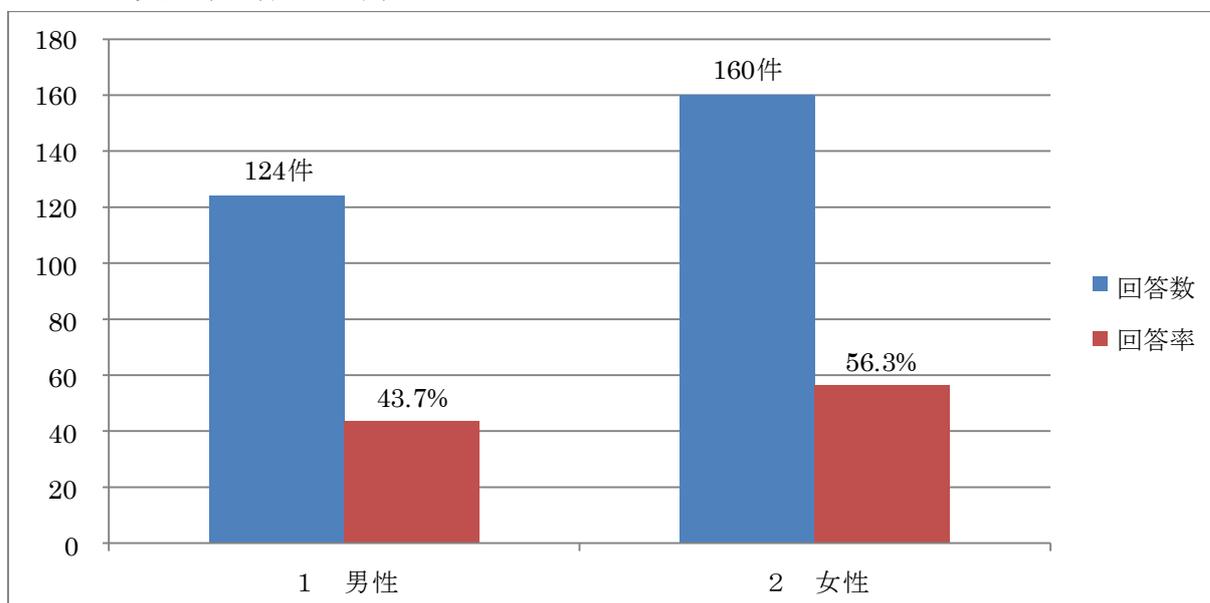
※グラフにおいて回答項目が多い質問については、数値の表示を省略するか回答数(件)又は回答率(%)のいずれかを表示している。

- (2) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを標記している。このため、各回答率(%)を足し上げても100.0%とならない場合がある。
- (3) グラフや表の項目などは、なるべく調査票そのままの表現を用いているが、スペースなどの関係から一部省略した表現としている箇所がある。

II 單純集計結果

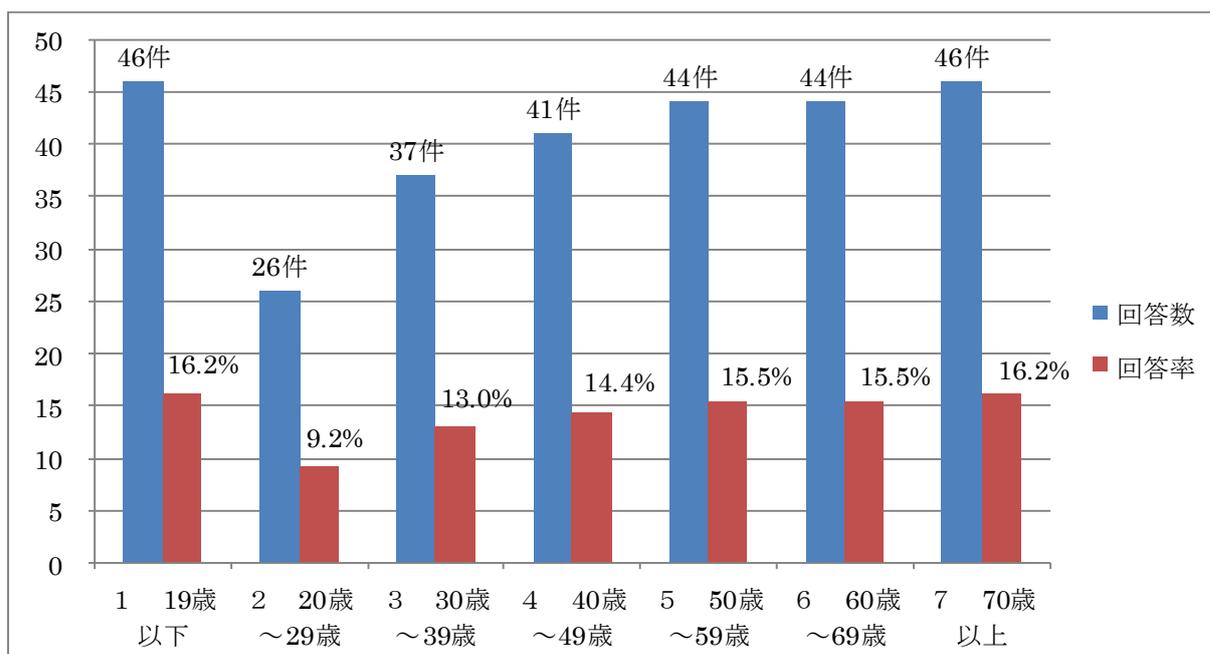
問1 あなたの性別を教えてください。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- 1 男性 (124件 : 43.7%)
- 2 女性 (160件 : 56.3%)



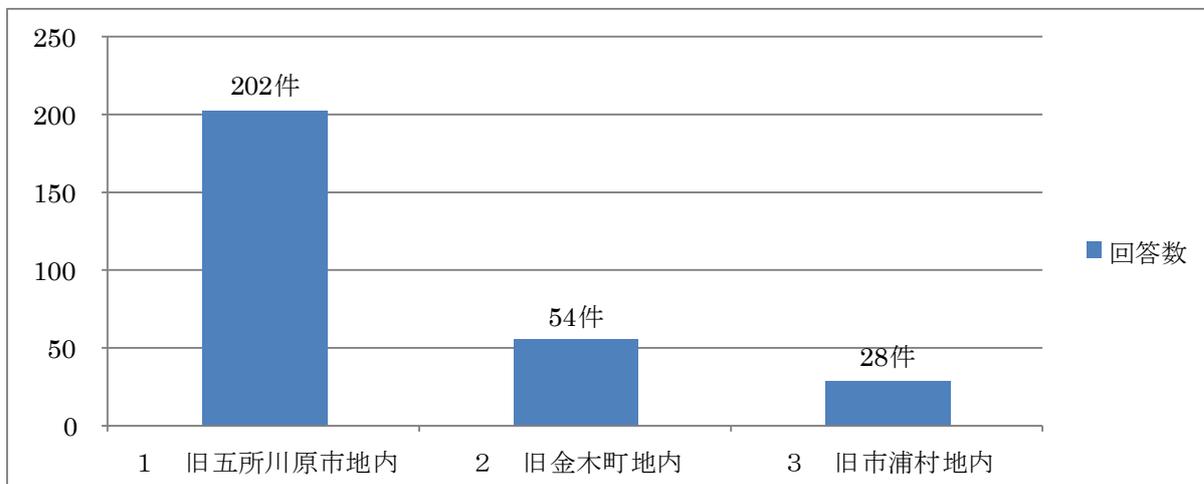
問2 あなたの年齢を教えてください。あてはまる番号に1つ〇印をつけてください。

- 1 19歳以下 (46件 : 16.2%)
- 2 20歳～29歳 (26件 : 9.2%)
- 3 30歳～39歳 (37件 : 13.0%)
- 4 40歳～49歳 (41件 : 14.4%)
- 5 50歳～59歳 (44件 : 15.5%)
- 6 60歳～69歳 (44件 : 16.9%)
- 7 70歳以上 (46件 : 16.2%)



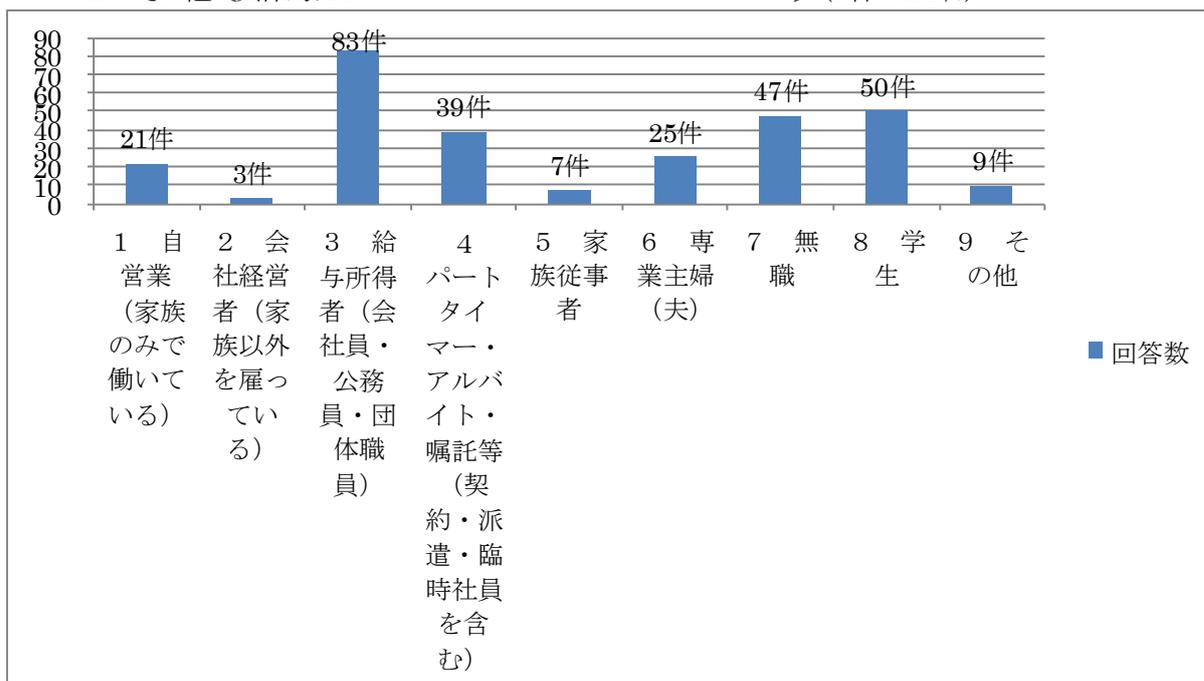
問3 あなたは現在どちらにお住まいですか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

- 1 旧五所川原市地内 (202件 : 71.1%)
- 2 旧金木町地内 (54件 : 19.0%)
- 3 旧市浦村地内 (28件 : 9.9%)



問4 あなたのお仕事とその内容を教えてください。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

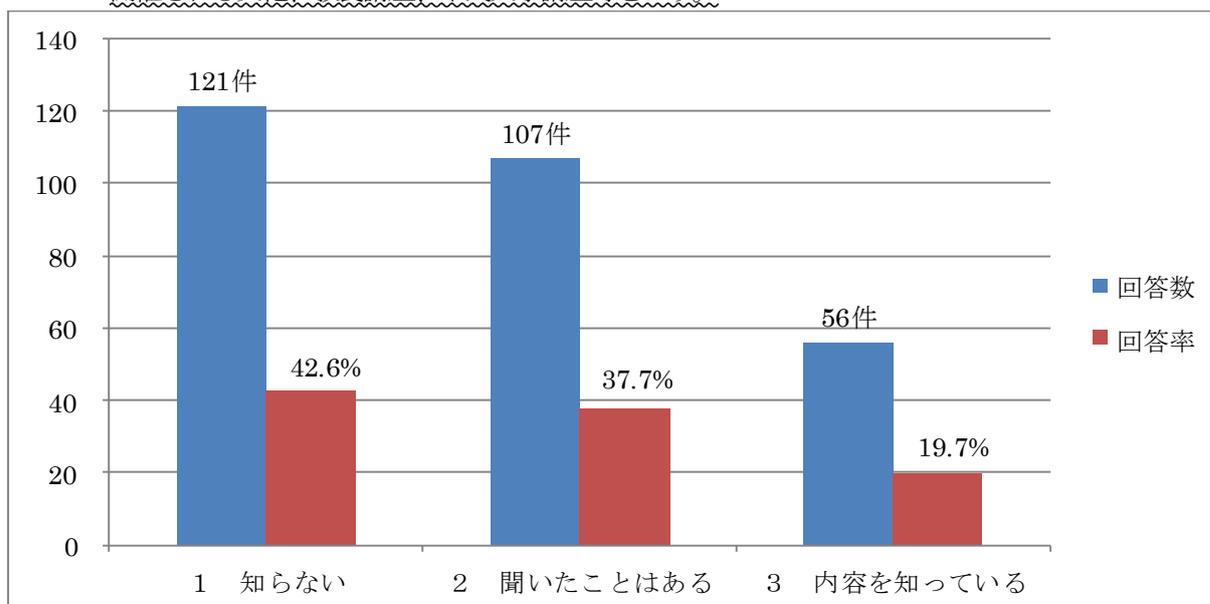
- 1 自営業 (家族のみで働いている) (21件 : 7.4%)
- 2 会社経営者 (家族以外を雇っている) (3件 : 1.1%)
- 3 給与所得者 (会社員・公務員・団体職員) (83件 : 29.2%)
- 4 パートタイマー・アルバイト・嘱託等 (契約・派遣・臨時社員を含む) (39件 : 13.7%)
- 5 家族従事者 (7件 : 2.5%)
- 6 専業主婦 (夫) (25件 : 8.8%)
- 7 無職 (47件 : 16.5%)
- 8 学生 (50件 : 17.6%)
- 9 その他 [具体的に:] (9件 : 3.2%)



問5 あなたは、社会教育を知っていますか。あてはまる番号に1つ○印をつけてください。

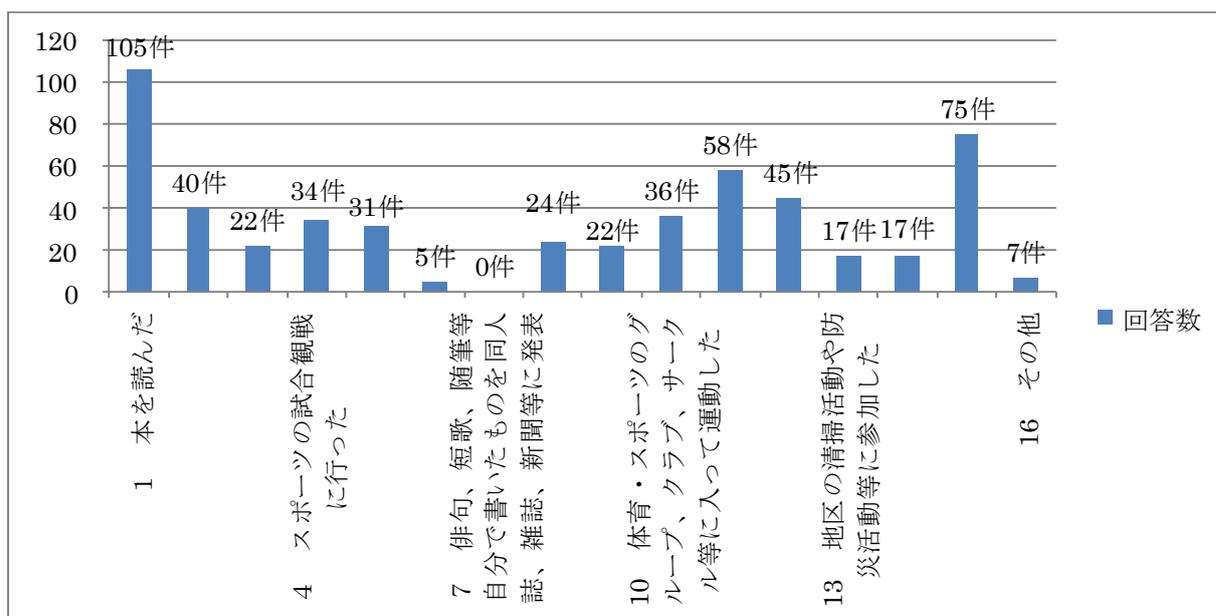
- 1 知らない (121件 : 42.6%)
- 2 聞いたことはある (107件 : 37.7%)
- 3 内容を知っている (56件 : 19.7%)

※社会教育(しゃかいきょういく)とは、社会において、都道府県や市町村等の自治体や公的機関、博物館、図書館、あるいは大学等が公的にだれでも参加できるカタチで提供する学習の機会のこと。無料ないし、わずかな費用で提供される。公民館、社会教育センター等で開催される文化、教養講座、市民大学講座等をいう。



問6 次の活動の中で、あなたがこの1年間に積極的に行ったものはありますか。主なものに3つまで、番号に○印をつけてください。

- 1 本を読んだ (105件 : 19.5%) ①
- 2 音楽会、演劇(芝居)、舞踊等の会に行った (40件 : 7.4%) ⑤
- 3 展覧会に行った (22件 : 4.1%)
- 4 スポーツの試合観戦に行った (34件 : 6.3%)
- 5 美術館や博物館等に行った (31件 : 5.8%)
- 6 展覧会や文化祭等に自分の作品を出品した (5件 : 0.9%)
- 7 俳句、短歌、随筆等自分で書いたものを同人誌、雑誌、新聞等に発表した (0件)
- 8 個人やグループ・団体でスポーツの大会に出場した (24件 : 4.5%)
- 9 ボランティア活動をした (22件 : 4.1%)
- 10 体育・スポーツのグループ、クラブ、サークル等に入って運動した (36件 : 6.7%)
- 11 健康のため、自分1人で何か運動を続けた (58件 : 10.8%) ③
- 12 地区の祭りや体育祭・文化祭等に行った (45件 : 8.4%) ④
- 13 地区の清掃活動や防災活動等に参加した (17件 : 3.2%)
- 14 子ども会、青年団、女性団体、老人クラブ等の地域の団体活動に参加した (17件 : 3.2%)
- 15 特にない (75件 : 13.9%) ②
- 16 その他 [(7件 : 1.3%)

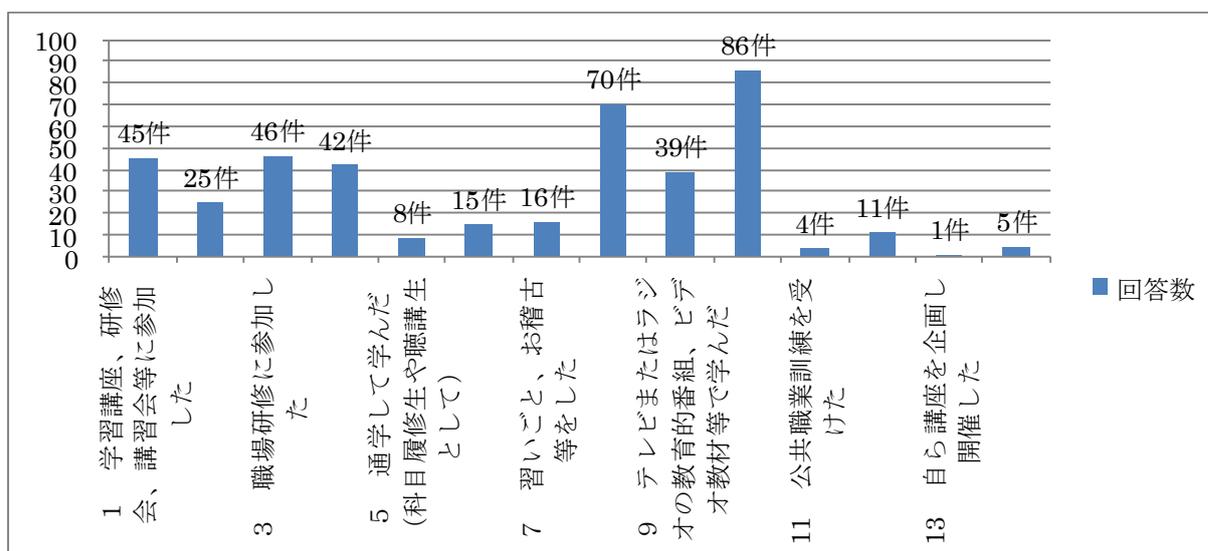


※その他の回答

- ・地区の祭りにグループで軽食店をやって活動した
- ・仕事休みは家事片付け
- ・野球の審判
- ・コンサートの主催
- ・保全会活動 (2件)
- ・未記載

問7 あなたはここ1年間に、何かを学習しようと思い次のような活動をしましたか。主なものに3つまで、番号に○印をつけてください。

- 1 学習講座、研修会、講習会等に参加した (45件 : 10.9%)
- 2 講演会、学習イベント等に参加した (25件 : 6.1%)
- 3 職場研修に参加した (46件 : 11.1%) ③
- 4 通学して学んだ (正規の学生として) (42件 : 10.2%)
- 5 通学して学んだ (科目履修生や聴講生として) (8件 : 1.9%)
- 6 通信教育、eラーニング等で学んだ (15件 : 3.6%)
- 7 習いごと、お稽古等をした (16件 : 3.9%)
- 8 本を読んで学んだ (70件 : 16.9%) ②
- 9 テレビまたはラジオの教育的番組、ビデオ教材等で学んだ (39件 : 9.4%)
- 10 インターネットで調べて学んだ (86件 : 20.8%) ①
- 11 公共職業訓練を受けた (4件 : 1.0件)
- 12 資料、文化財等を見に行つて学んだ (11件 : 2.7%)
- 13 自ら講座を企画し開催した (1件 : 0.2%)
- 14 その他 [] (5件 : 1.2%)

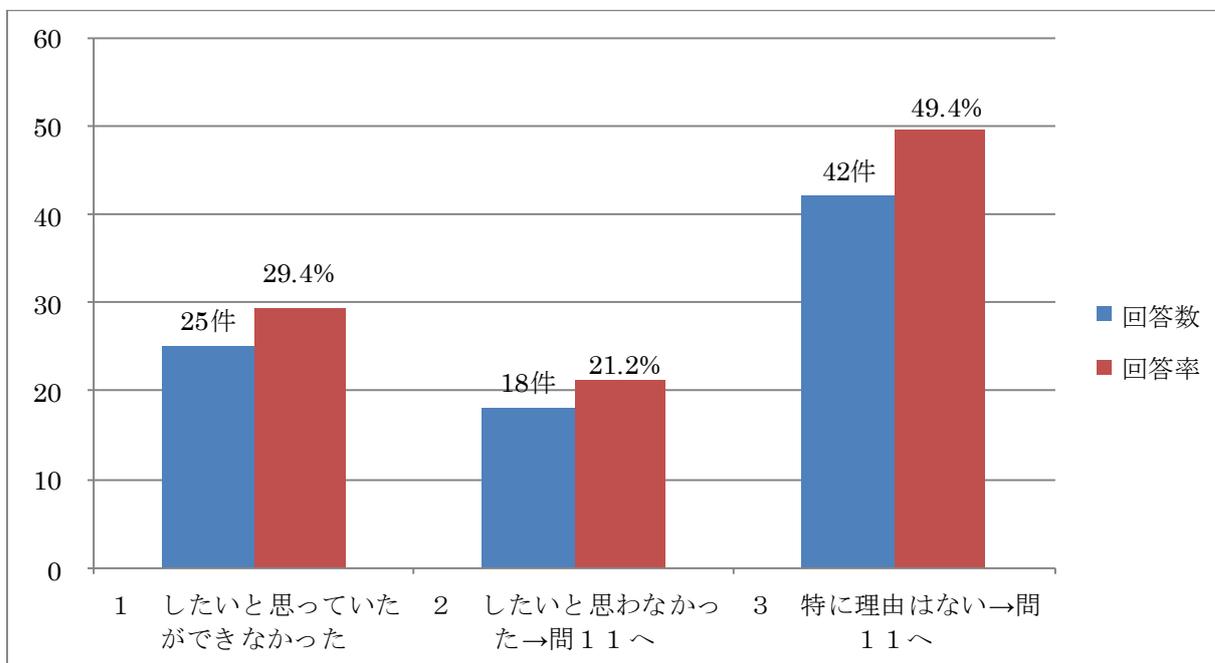


※その他の回答

- ・学会発表の為の研究
- ・未記載 (4件)

問8 ここ1年間に、問7にある活動をしなかった方にお聞きします。

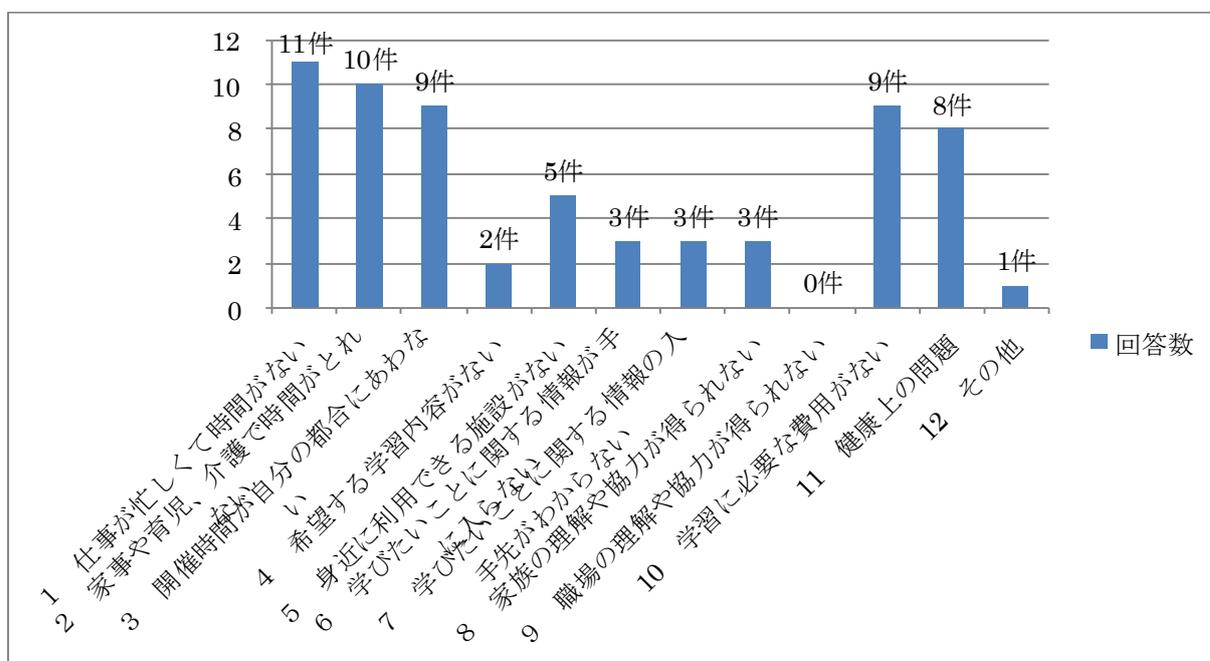
- 1 したいと思っていたができなかった (25件 : 29.4%)
- 2 したいと思わなかった→問11へ (18件 : 21.2%)
- 3 特に理由はない→問11へ (42件 : 49.4%)



問9 問8で「1 したいと思っていたができなかった」と答えた方にお聞きします。

問7にある活動をできなかった理由はどのようなことですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 仕事が忙しくて時間がない (11件 : 17.2%) ①
- 2 家事や育児、介護で時間がとれない (10件 : 15.6%) ②
- 3 開催時間が自分の都合にあわない (9件 : 14.1%) ③
- 4 希望する学習内容がない (2件 : 3.1%)
- 5 身近に利用できる施設がない (5件 : 7.8%)
- 6 学びたいことに関する情報が手に入らない (3件 : 4.7%)
- 7 学びたいことに関する情報の入手先がわからない (3件 : 4.7%)
- 8 家族の理解や協力が得られない (3件 : 4.7%)
- 9 職場の理解や協力が得られない (0件)
- 10 学習に必要な費用がない (9件 : 14.1%) ③
- 11 健康上の問題 (8件 : 12.5%)
- 12 その他 [] (1件 : 1.6%)

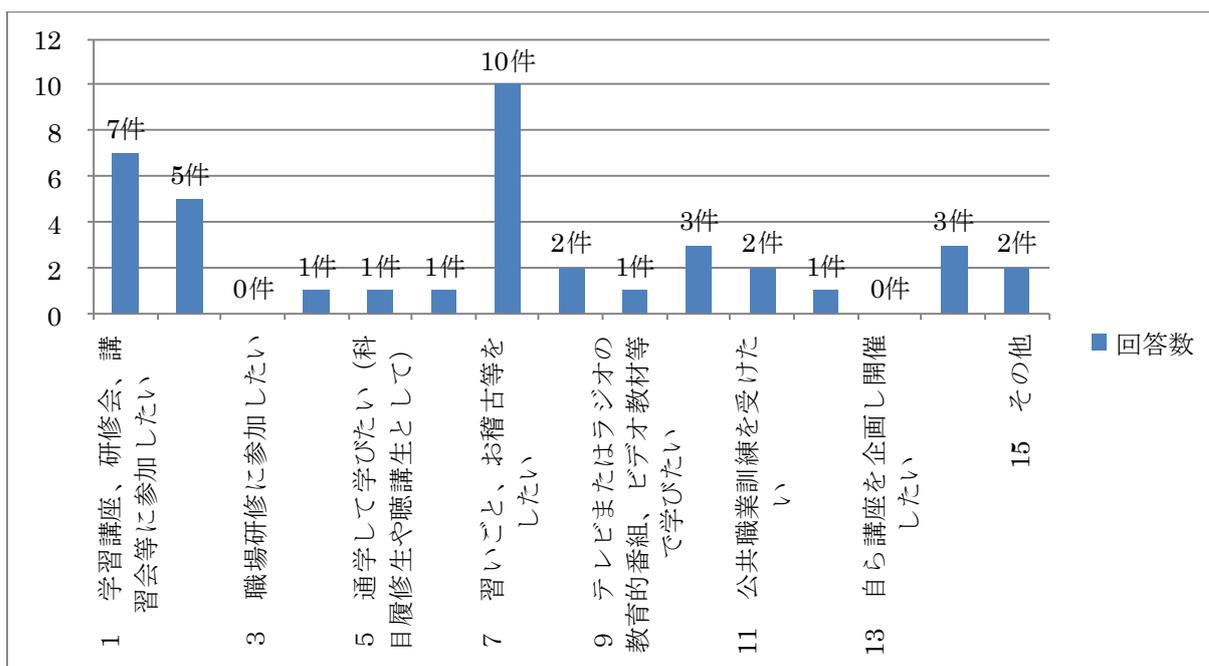


※その他の回答

- ・インターネットがないので情報が分からない

問10 問8で「1 したいと思っていたができなかった」と答えた方にお聞きします。
 あなたはどのような活動をしたいと考えていましたか。あてはまる番号に○印をつけてください。

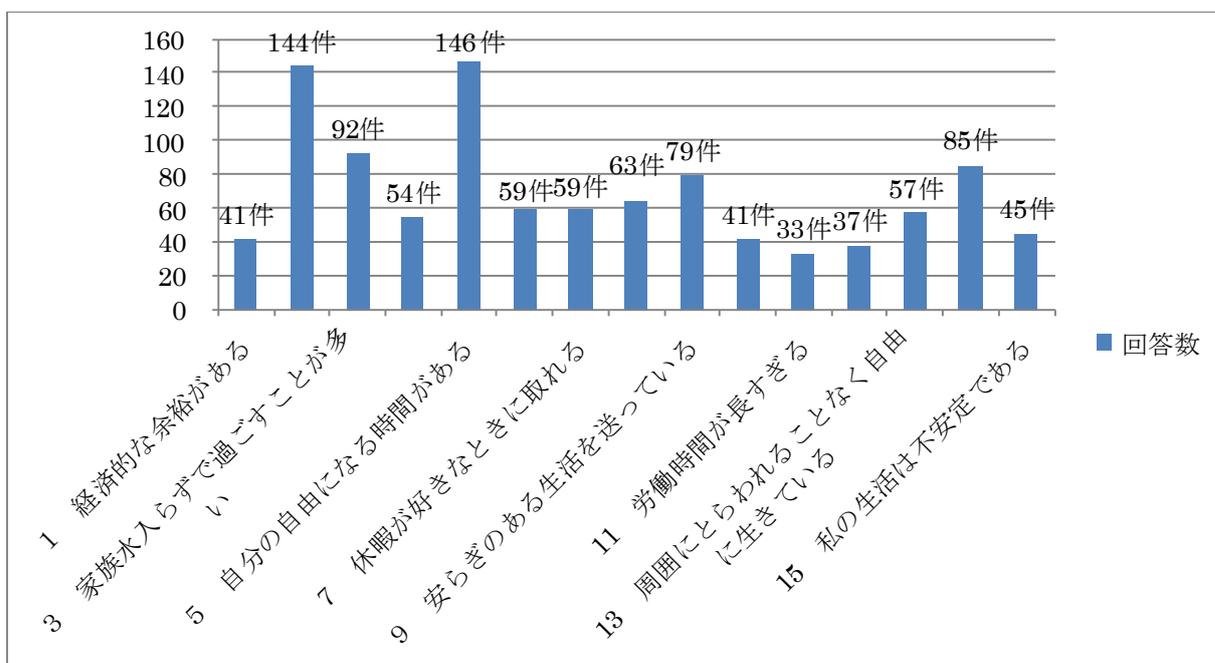
- 1 学習講座、研修会、講習会等に参加したい (7件 : 17.9%) ②
- 2 講演会、学習イベント等に参加したい (5件 : 12.8%) ③
- 3 職場研修に参加したい (0件)
- 4 通学して学びたい (正規の学生として) (1件 : 2.6%)
- 5 通学して学びたい (科目履修生や聴講生として) (1件 : 2.6%)
- 6 通信教育、eラーニング等で学びたい (1件 : 2.6%)
- 7 習いごと、お稽古等をしたい (10件 : 25.6%) ①
- 8 本を読んで学びたい (2件 : 5.1%)
- 9 テレビまたはラジオの教育的番組、ビデオ教材等で学びたい (1件 : 2.6%)
- 10 インターネットで調べて学びたい (3件 : 7.7%)
- 11 公共職業訓練を受けたい (2件 : 5.1%)
- 12 資料、文化財等を見に行き学びたい (1件 : 2.6%)
- 13 自ら講座を企画し開催したい (0件)
- 14 得る手段が分からない (3件 : 7.7%)
- 15 その他〔 (2件 : 5.1%)



※その他の回答
 ・未記載 (2件)

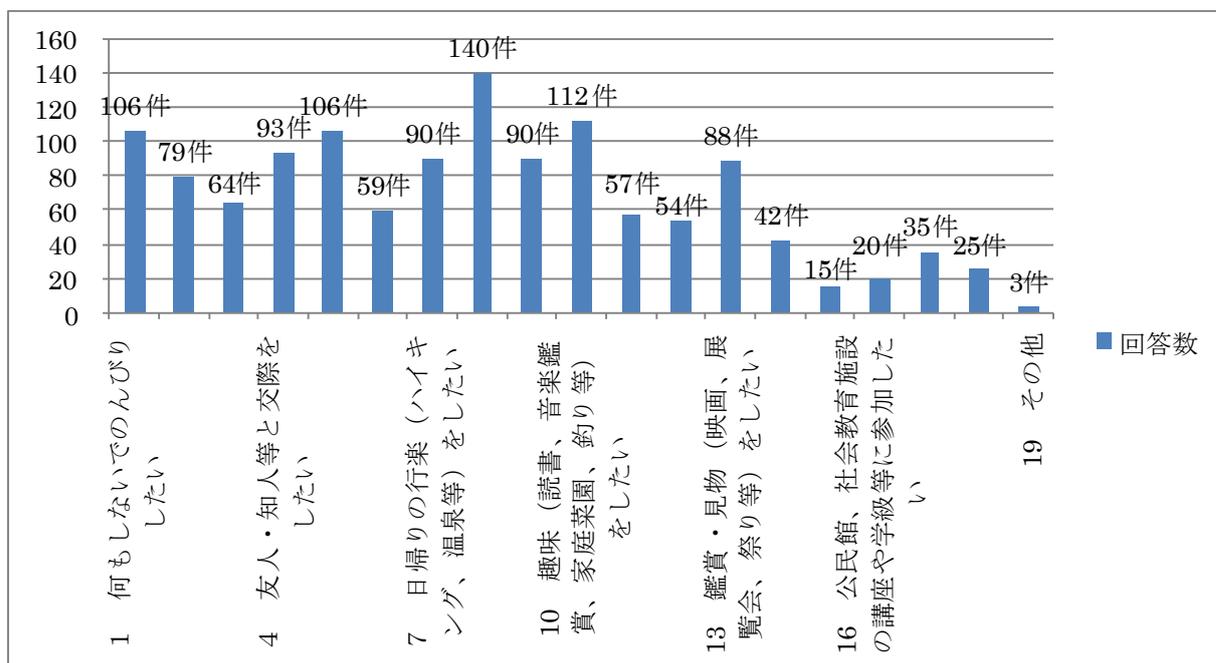
問11 あなたのふだんの生活を振り返って、次のそれぞれの項目について、あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 経済的な余裕がある (41件 : 4.0%)
- 2 経済的な余裕がない (144件 : 13.9%) ②
- 3 家族水入らずで過ごすことが多い (92件 : 8.9%) ③
- 4 家族と過ごすことが少ない (54件 : 5.2%)
- 5 自分の自由になる時間がある (146件 : 14.1%) ①
- 6 自分の自由になる時間がない (59件 : 5.7%)
- 7 休暇が好きなきに取れる (59件 : 5.7%)
- 8 休暇が好きなきに取ることができない (63件 : 6.1%)
- 9 安らぎのある生活を送っている (79件 : 7.6%)
- 10 生活に安らぎがない (41件 : 4.0%)
- 11 労働時間が長すぎる (33件 : 3.2%)
- 12 いやなこととはとにかくしない (37件 : 3.6%)
- 13 周囲にとらわれることなく自由に生きている (57件 : 5.5%)
- 14 私の生活は安定している (85件 : 8.2%)
- 15 私の生活は不安定である (45件 : 4.3%)



問12 あなたが自由に使える時間があれば何をしたいですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 何もしないでのんびりしたい (106件:8.3%) ③
- 2 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等の見聞きをしたい (79件:6.2%)
- 3 家族とだんらんしたい (64件:5.0%)
- 4 友人・知人等と交際をしたい (93件:7.3%)
- 5 飲食・ショッピングをしたい (106件:8.3%) ③
- 6 ドライブをしたい (59件:4.6%)
- 7 日帰りの行楽(ハイキング、温泉等)をしたい (90件:7.0%)
- 8 1泊2日程度の宿泊旅行をしたい (140件:11.0%) ①
- 9 スポーツや軽い運動(散歩、ジョギング、水泳、テニス、スキー等)をしたい (90件:7.0%)
- 10 趣味(読書、音楽鑑賞、家庭菜園、釣り等)をしたい (112件:8.8%) ②
- 11 娯楽(マージャン、パチンコ、競輪、競馬、テレビゲーム等)をしたい (57件:4.5%)
- 12 パソコン、インターネット等をしたい (54件:4.2%)
- 13 鑑賞・見物(映画、展覧会、祭り等)をしたい (88件:6.9%)
- 14 習いごと(外国語教室、陶芸教室等)をしたい (42件:3.3%)
- 15 大学の公開講座や講演会等に参加したい (15件:1.2%)
- 16 公民館、社会教育施設の講座や学級等に参加したい (20件:1.6%)
- 17 自分の関心のあることについて個人で学習や研究をしたい (35件:2.7%)
- 18 地域や社会のための活動(町内会活動、祭り、ボランティア活動、NPO等) (25件:2.0%)
- 19 その他 [] (3件:0.2%)



※その他の回答

- ・1週間程度の長期休暇で宿泊旅行をしたい。
- ・家事、趣味、習い事、旅行等、畏友時間をフル活用し最高の人生です
- ・ボルダリング、ラテアート

問13 あなたは今後、次のようなことを学習したいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 子育てに関する事 (45件 : 3.7%) ⑧
- 2 地域の諸問題に関する事 (37件 : 3.1%)
- 3 政治、経済、法律に関する事 (49件 : 4.0%) ⑥
- 4 人の心の仕組みについての学習 (81件 : 6.7%) ②
- 5 人の生き方、宗教に関する事 (31件 : 2.6%)
- 6 歴史に関する事 (31件 : 2.6%)
- 7 自然界に起きる現象の仕組み (41件 : 3.4%) ⑨
- 8 人の体の仕組みや病気、薬の働き (92件 : 7.6%) ①
- 9 自然の生き物に関する事 (36件 : 3.0%)
- 10 農業、林業、水産業に関する事 (32件 : 2.6%)
- 11 家や橋を作る事 (16件 : 1.3%)
- 12 電気や機械製品の仕組みに関する事 (26件 : 2.1%)
- 13 情報技術に関する事 (36件 : 3.0%)
- 14 会社の経営に関する事 (21件 : 1.7%)
- 15 不動産や金融の取引 (17件 : 1.4%)
- 16 パソコン、インターネットの使い方 (56件 : 4.6%) ⑤
- 17 書道、華道、茶道 (29件 : 2.4%)
- 18 美術、工芸、民芸、 (34件 : 2.8%)
- 19 音楽、舞踊、鑑賞活動 (41件 : 3.4%) ⑨
- 20 スポーツや野外活動 (58件 : 4.8%) ④
- 21 栄養や健康を考えた調理方法 (61件 : 5.0%) ③
- 22 手芸、編み物、和裁、洋裁 (36件 : 3.0%)
- 23 身体の不自由な人の世話をすること (17件 : 1.4%)
- 24 草花、庭木、野菜等の育て方 (47件 : 3.9%) ⑦
- 25 性別や生涯の有無による差別をなくすこと (26件 : 2.1%)
- 26 少子・高齢社会の生き方 (37件 : 3.1%)
- 27 ボランティア活動の仕方に関する事 (15件 : 1.2%)
- 28 住みよいまちづくりに関すること (36件 : 3.0%)
- 29 犯罪や火事から身を守る方法 (25件 : 2.1%)
- 30 外国語を学び海外の人と交流をすること (40件 : 3.3%)
- 31 自然環境の保護について (24件 : 2.0%)
- 32 五所川原市の自然、産業、歴史、民俗等の郷土に関する事 (34件 : 2.8%)
- 33 その他 [] (3件 : 0.2%)

(問13で1つも○印をつけなかった方は終了です。)

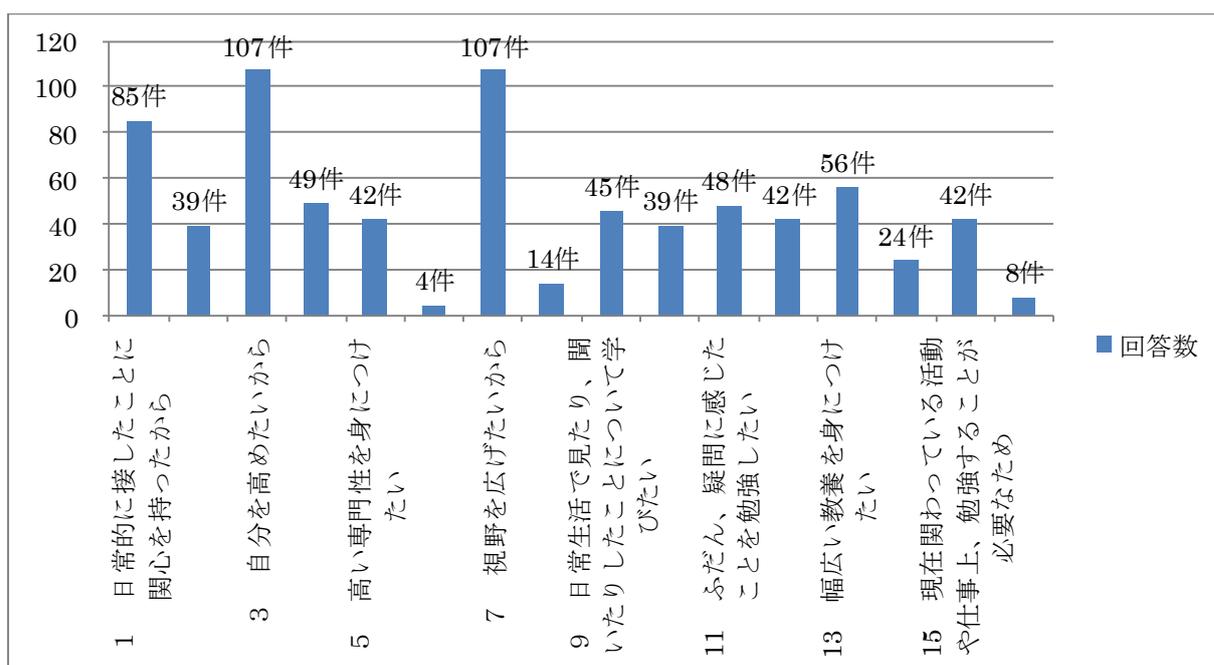
※回答項目が多い質問のためグラフ省略

※その他の回答

- ・資格取得のための勉強
- ・障害者の地域生活
- ・義手・義足を作る

問14 問13で選択したものの中で、あなたが学習したいと思う動機はなんですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 日常的に接したことに興味を持ったから (85件 : 11.3%) ②
- 2 新たな友人を作ることができるから (39件 : 5.2%)
- 3 自分を高めたいから (107件 : 14.2%) ①
- 4 なりたい職業や、資格のため (49件 : 6.5%)
- 5 高い専門性を身につけたい (42件 : 5.6%)
- 6 義務的に勉強することが多いため (4件 : 0.5%)
- 7 視野を広げたいから (107件 : 14.2%) ①
- 8 ほかにやりたいことがないから (14件 : 1.9%)
- 9 日常生活で見たり、聞いたりしたことについて学びたい (45件 : 6.0%)
- 10 多くの人と交わることができるから (39件 : 5.2%)
- 11 ふだん、疑問に感じたことを勉強したい (48件 : 6.4%)
- 12 いろいろな人と出会えるから (42件 : 5.6%)
- 13 幅広い教養を身につけたい (56件 : 7.5%) ③
- 14 なんとなく勉強したい (24件 : 3.2%)
- 15 現在関わっている活動や仕事上、勉強することが必要なため (42件 : 5.6%)
- 16 その他 [] (8件 : 1.1%)

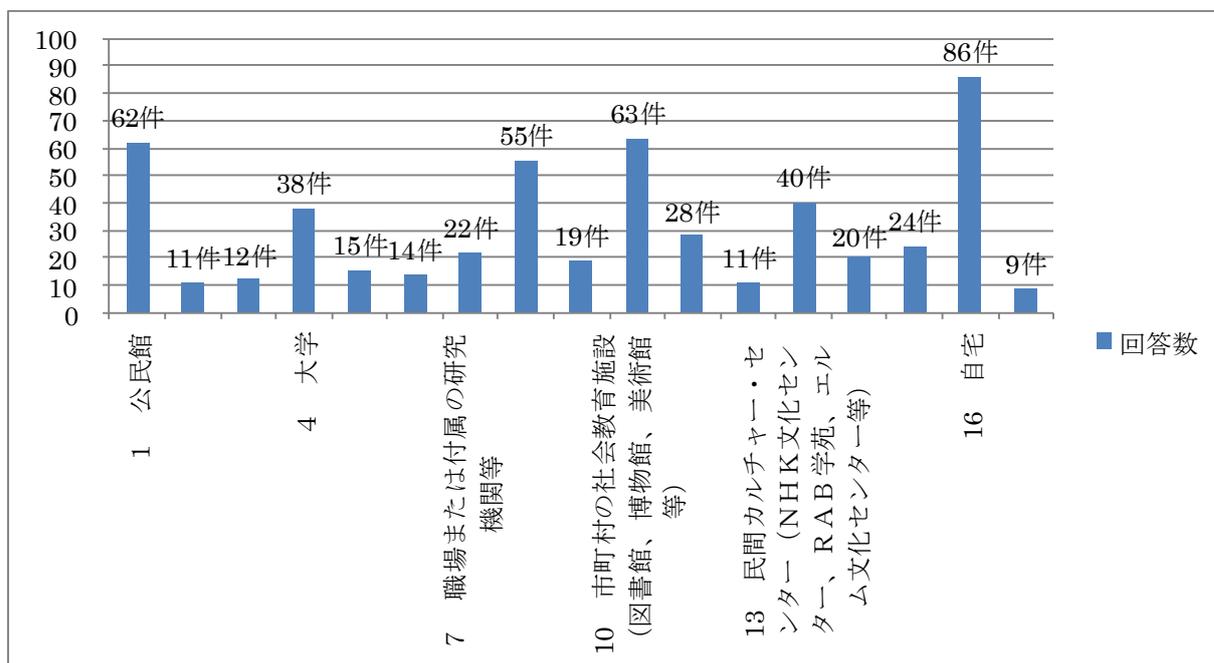


※その他の回答

- ・今まで仕事、仕事だったので自分でやりたい事をいろいろしてみたい
- ・老後の時間の過ごし方に向けて趣味にしたかったから
- ・自分が病気だから
- ・手先が器用、物作りが好きってのを生かしたい
- ・学習が楽しいから
- ・やりたいと思う気持ちだけです
- ・未記載 (2件)

問15 問13で選択したものをどのような場所や機関で学習したいですか。あてはまる番号にいくつかでも○印をつけてください。

- 1 公民館 (62件 : 11.7%) ③
- 2 放送大学または大学通信教育課程 (11件 : 2.1%)
- 3 民間の通信教育システム (12件 : 2.3%)
- 4 大学 (38件 : 7.2%)
- 5 専門学校 (15件 : 2.8%)
- 6 高等学校 (14件 : 2.6%)
- 7 職場または付属の研究機関等 (22件 : 4.2%)
- 8 趣味のグループ・サークル (55件 : 10.4%)
- 9 各種団体 (農協、商工会、婦人会、PTA、子ども会等) (19件 : 3.6%)
- 10 市町村の社会教育施設 (図書館、博物館、美術館等) (63件 : 11.9%) ②
- 11 県の社会教育施設 (図書館、郷土館、社会教育センター等) (28件 : 5.3%)
- 12 男女共同参画センター、子ども家庭支援センター、諸費生活センター等 (11件 : 2.1%)
- 13 民間カルチャー・センター (NHK文化センター、RAB学苑、エルム文化センター等) (40件 : 7.6%)
- 14 個人経営の教室 (20件 : 3.8%)
- 15 職業訓練機関 (雇用・能力開発機構、職業能力開発短期大学校、高等技術専門学校等) (24件 : 4.5%)
- 16 自宅 (86件 : 16.3%) ①
- 17 その他 [] (9件 : 1.7%)

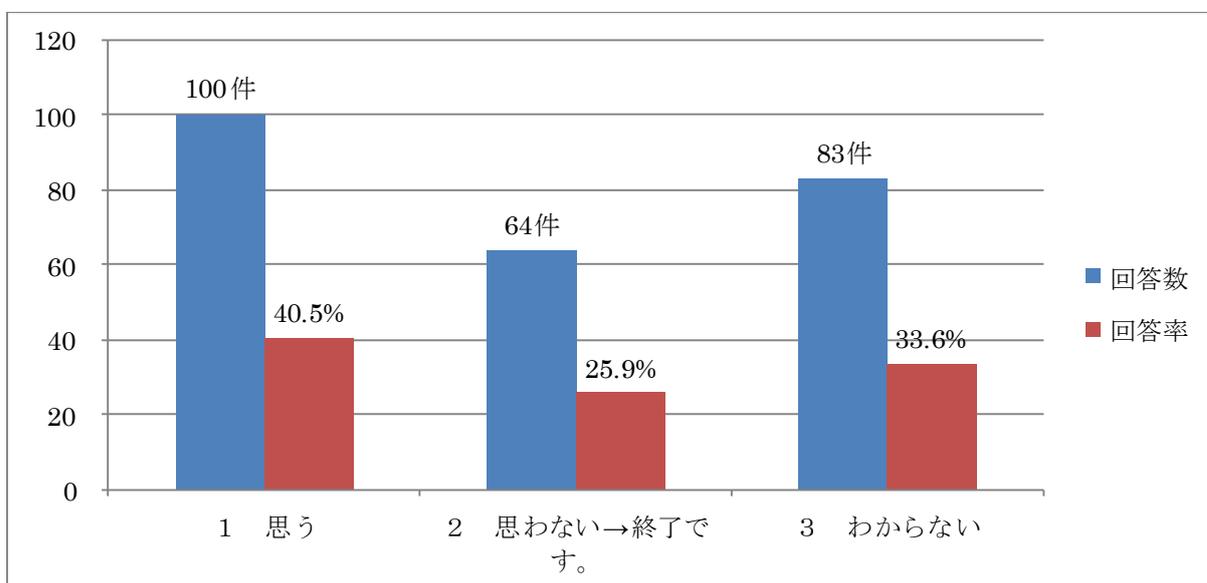


※その他の回答

- ・近くのコミセン
- ・社員教育、会社の研修
- ・youtube
- ・近所であればどこでも (2件)
- ・どこでも可
- ・未記載 (3件)

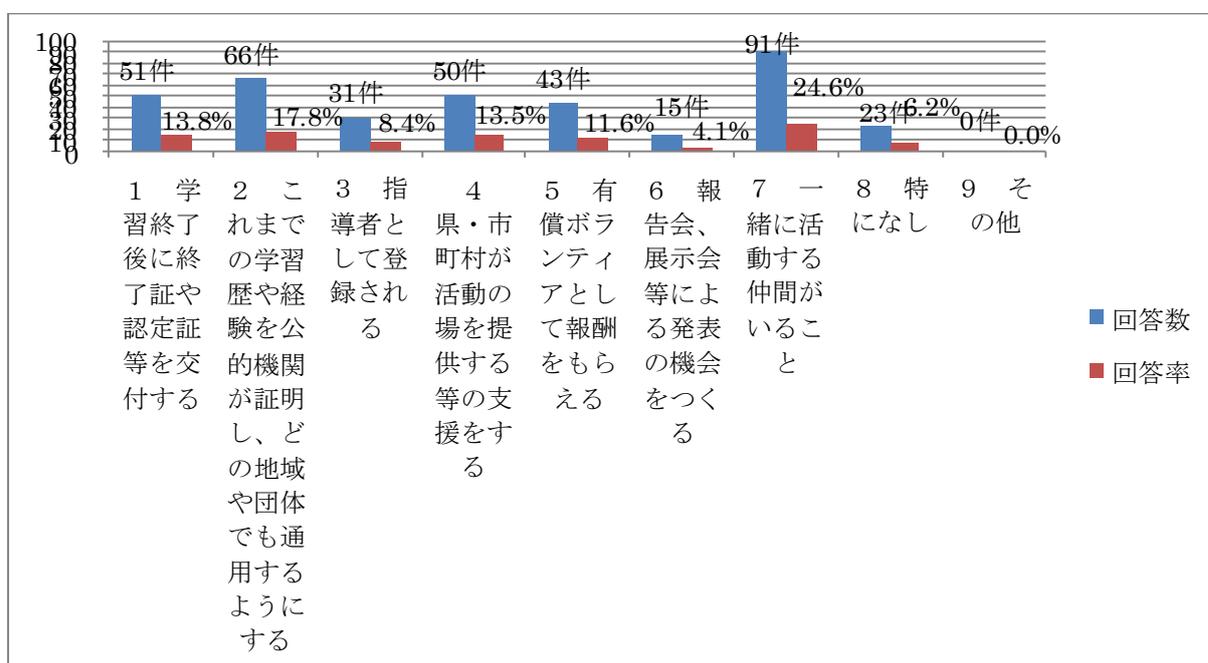
問16 あなたは今後、自分の学習した成果を地域社会で役立てたいと思いますか。

- 1 思う (100件 : 40.5%)
- 2 思わない→終了です。(64件 : 25.9%)
- 3 わからない (83件 : 33.6%)



問17 もしあなたが、自分の学習した成果を地域社会に役立てようとしたら、どのような仕組みや条件があればやりやすいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- 1 学習終了後に終了証や認定証等を交付する (51件 : 13.8%) ③
- 2 これまでの学習歴や経験を公的機関が証明し、どの地域や団体でも通用するようにする (66件 : 17.8%) ②
- 3 指導者として登録される (31件 : 8.4%)
- 4 県・市町村が活動の場を提供する等の支援をする (50件 : 13.5%)
- 5 有償ボランティアとして報酬をもらえる (43件 : 11.6%)
- 6 报告会、展示会等による発表の機会をつくる (15件 : 4.1%)
- 7 一緒に活動する仲間がいること (91件 : 24.6%) ①
- 8 特になし (23件 : 6.2%)
- 9 その他 [] (0件)



自由記載欄 (五所川原市教育委員会に対するご意見・ご要望等が特にありましたら、ご自由に記載してください。)

- ・ 駅付近に勉強ができるような場所が欲しい。
- ・ 自分なりに何か学習はしているが・・・希望する学習内容がない、学びたい事に関する情報が手に入らない (ほとんどない!!) 等々、社会教育に対する教委の取組み、熱意、本気度が全くといていらい感じられない。(伝わってこない!!)
- ・ つがる市の図書館みたいな所を五所川原も大きく作ればいいのに。
- ・ 学校の先生を退職した方とかまだまだ働けるかと、コミセンなど集まりやすい所で俳句や短歌、習字、政治経済など考えられるところたくさんあるかと。子供も大人もじじ、ばばも一緒に学べるスペースがあったらいいな。いろんな職業の方も一緒に学べる機会。私は、これからの時代は、コミュニケーションが何よりも大切な時代になるかと思っています。
- ・ 五所川原市をもっと良くしたい。住みよい街にしたい。学習ではなく、研究会等を作って自らが活動拠点となる。今までのサークル的な活動では、一部の人しか集まらないライセンス等 (認定証等) を与えて、有料で活動できる仕組みづくり。五所川原をもっと発信する。立佞武多を大いに利用する。食で特産品をアピールする。例：つくねいも、ソバ、りんご、しじみ、市浦牛など。

若い意見を取り入れる。他市町村の成功例を参考に新しいものにチャレンジする。イベントにくっつけたイベント+αを作ることによって予算が少なくても効果が見える。

- ・無作為に選んでアンケート返送！！その後の結果は！！
- ・調査票と回答用紙が分けられているため回答用紙に書く際に番号を確認しながらだったのが分かりづらかった。図書館が古く狭い。本を貸りに行きたいと思える図書館ではない。勉強するにもあまり環境が整っていない。五所川原は学校が多いので参考書を置くとか学生が立ち寄りたいたいと思えば良い。公民館等でやっている教室や講習、イベント等が何をやっているか全然わからない。もっと宣伝したりすれば参加したりする人も多くなるのではと思う。
- ・冬の子供達達の通学路の安全を確保してください。
- ・社会教育の充実と平行して明日の五所川原市を背負う子供達達の教育の充実（支援員増員）をお願いします。
- ・無駄なアンケートお疲れ様です。税金の無駄だ！！今すぐ中止しろ！！ムダムダムダムダムダ
- ・学校の先生にもっと自由な時間を。
- ・結局何をしている機関なのかわからない。公民館等で講座が開催されていても周知されていなければ参加者は少なくて当然。そういう講座もいつも決まった人が講師、参加者としているようで市民に開かれているイメージが全くない。
- ・アンケートに労働、経費を掛けるなら税金等を安くしてほしい。市議会議員を定年制を設けてほしい。（70歳代がすぎ）
- ・少子化に歯止めがかかるような環境になって欲しいです。安心して子供を産み育てられるようになっていったらいいですね。
- ・イベントその他企画されていると思いますが、もっと市民が参加できるようにわかりやすくしてほしいです。
- ・今回のこの調査自体、市の取組みを評価したいと考えます。自身を振り返るいい機会でした。ありがとうございます。
- ・こんなアンケートより学校教育に力を入れてほしい。
- ・広い視野で考えることができる人が育つ教育が増々必要になっていくと思う。学歴偏重で格差社会、そして、核家族が進むなか心にゆとりの有る教育を希望する次第です。
- ・送られてきたこのアンケートが本当に五所川原市教育委員会のものか疑いました。住所が間違いないので回答を送りましたが、詐欺の巧妙な手紙のあふれる昨今、せめてHPに「アンケートを実施しています。該当の方よろしくお願ひします。」のような文面だけでも載せていただけると回答する若い方も少しは増えるのではないかと思います。
- ・発達障害が現在のように認知されていなかった28年前、発達障害を抱えた子供の親として小学校入学前に教育委員会に子供の相談をしました。通常学級で集団生活に適応していけるのか不安だったので、入学後に何らかの配慮や対処をしてもらえないものかと……。結果は「無駄な相談」でした。ほとんどの教師が学習障害等の発達障害について知識もなく子どもは浮いた存在でイジメの対象でした。現在の教育委員会は発達障害児やイジメ等の問題について真摯に対処していることと思いますが、昔は子供も親もシンドかったのです。
- ・もし、何らかの活動に参加したい場合でも日中仕事をしていると参加できない事が多いので夜間帯に設けてもらえれば参加できる場合もあるのではと思う。
- ・教育委員会という学校に関することだと思っていました。今回のアンケートは紙ですが、パソコン新聞等がない生活だと情報を得るには何を見ていいかわかりません。生活にも余裕がありません。
- ・子供達のやりたいスポーツが限定されることなく安定してできる取り組みがほしい。人数不足や教員の撤退などで不安定になっているし、親も仕事の都合上、遠方での取り組みは難しい。
- ・がんばってください。
- ・毎日遅くまで残業していると何か活動したくてもできない。同じく、休日出勤にもなると何かの

資格の講習なんかも無理。

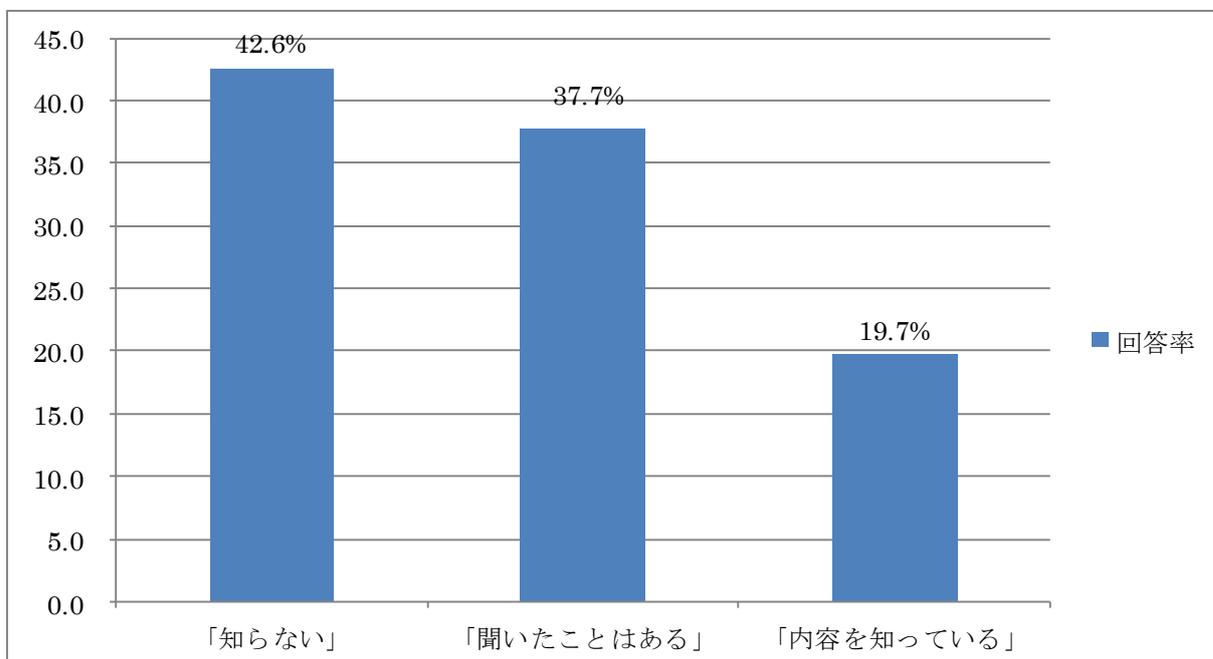
- 県立高校に通っているのですが、より生徒の為になる行いをしている教員が、もっと正当に評価されてほしいと思っています。
- 市で行ういろいろな社会教育等は、先立ちの一部の人が自分達のものだと勘違いし、後から参加する人が入りにくい感が多々あると思う。又、その人達は自分達が市の職員と思っている感もある。いつでも参加しやすい雰囲気作りと広報を広く進めてほしい。
- 市の傾聴ボランティア講習を受けた時、認定証等をももらったが、活動の場を提供とかはなく、ただ、講習を受けただけで終わってしまった。もったいない気がする。
- 地域で子育てしやすくする為に、学校に関わる出費を少なくしたい。週末や祝日だけにイベントをやっているとサービス業の職業者は参加できない。

Ⅲ 調査の結果

1 社会教育の認知度について

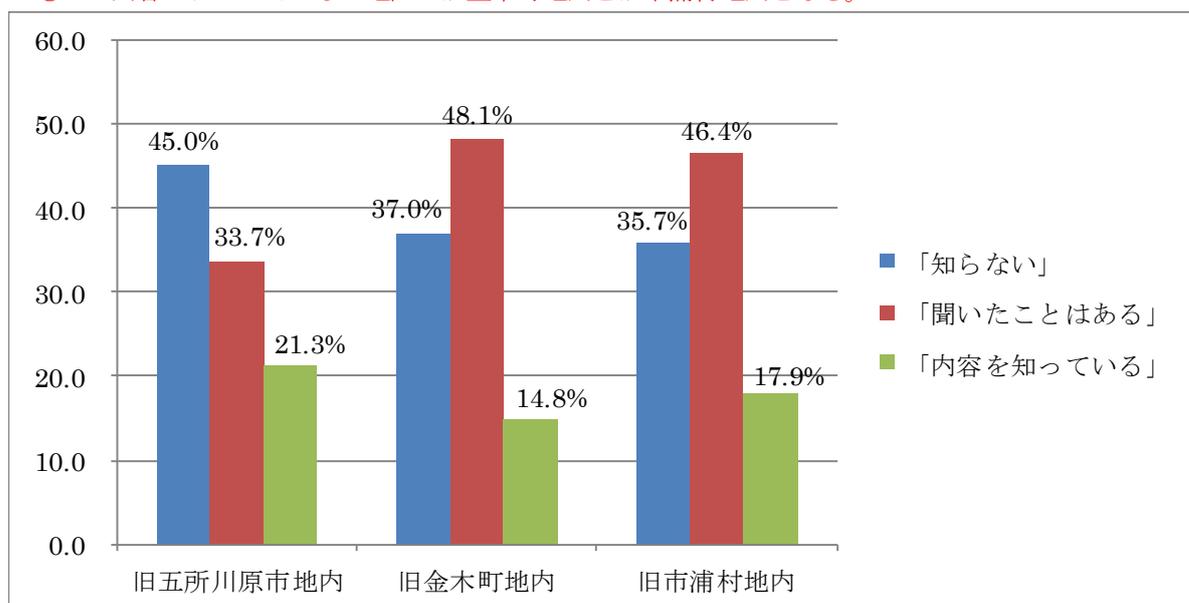
(1) 全体

社会教育の認知度については、「知らない」が42.6%と最も多く、次いで「聞いたことはある」37.7%、「内容を知っている」が最も低く19.7%となっている。



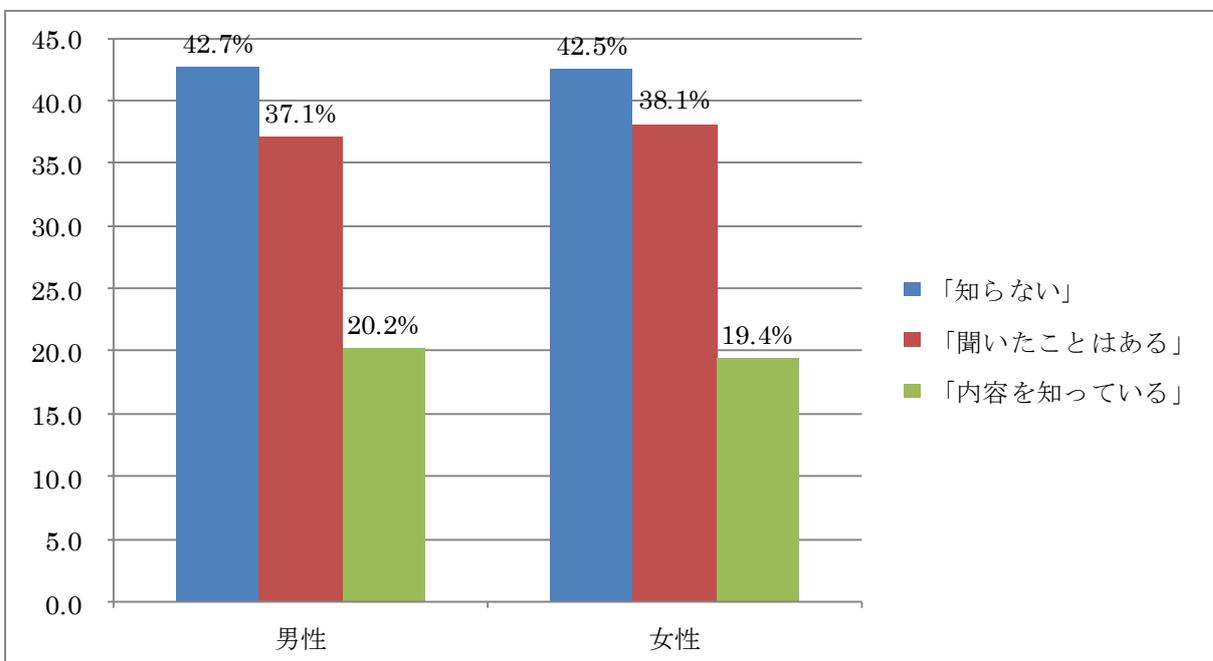
(2) 地区別

地区別では、旧五所川原市地内で「知らない」45.0%、「聞いたことはある」33.7%、「内容を知っている」21.3%、旧金木町地内で「知らない」37.0%、「聞いたことはある」48.1%、「内容を知っている」14.8%、旧市浦村地内で「知らない」35.7%、「聞いたことはある」46.4%、「内容を知っている」17.9%となっており、「知らない」、「内容を知っている」が最も多いのが共に旧五所川原市地内となっており、「聞いたことはある」が最も多いのが旧金木町地内で、次いで旧市浦村地内となっている。認知度は低いもの内容わかっている地区が旧五所川原市地内となり、認知度は高いもの内容がわかっていない地区が旧金木町地内と旧市浦村地内となる。



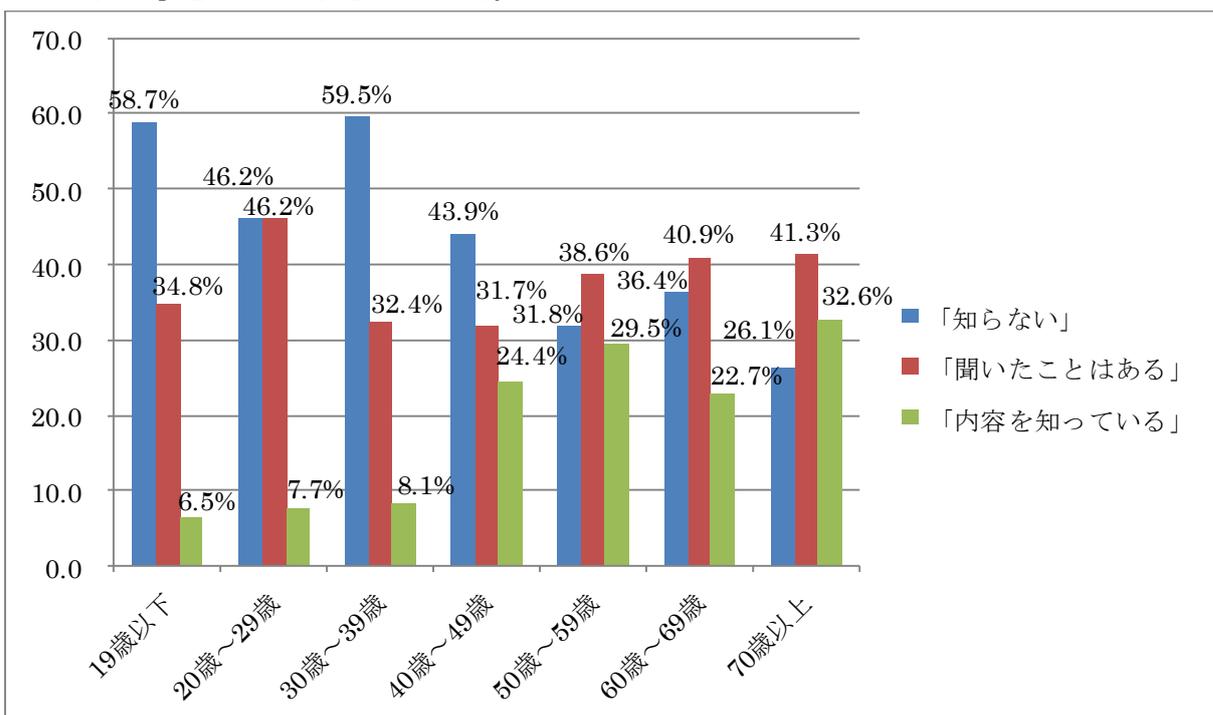
(3) 男女別

男女別では、「知らない」は男性（42.7%）が女性（42.5%）を0.2%上回っており、「内容を知っている」は男性（20.2%）が女性（19.4%）を0.8%上回っている。一方、「聞いたことはある」は女性（38.1%）が男性（37.1%）を1.0%上回っている。



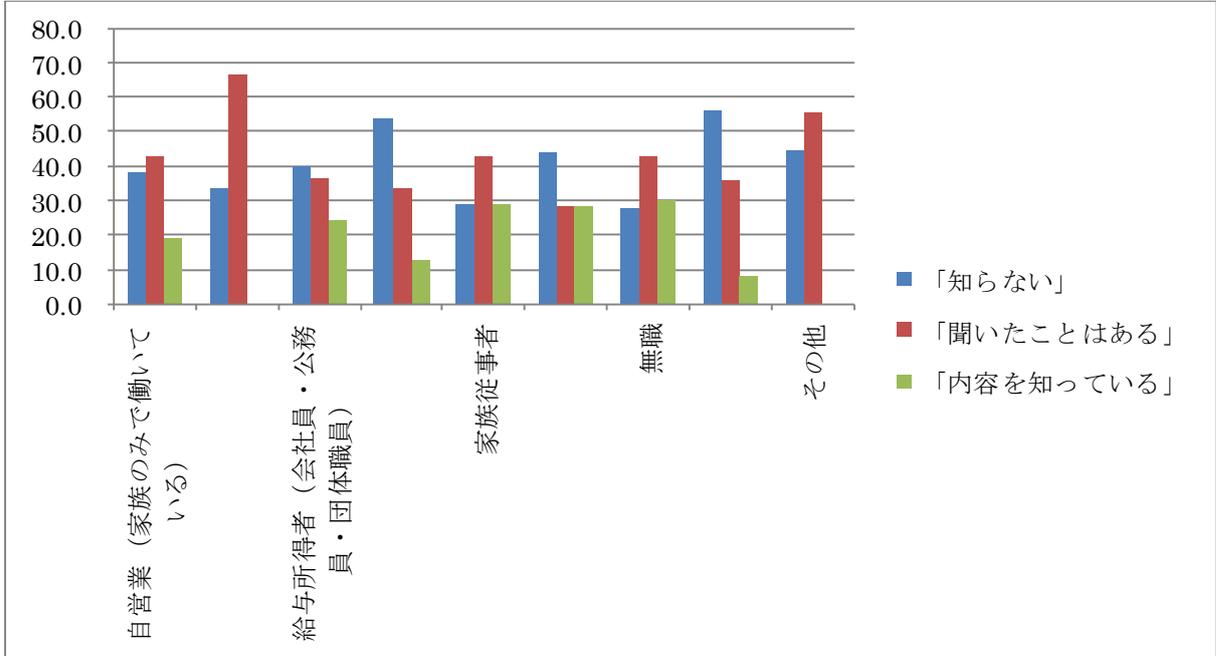
(4) 年齢別

年齢別では、「知らない」が49歳以下で高くなっており、19歳以下と30歳～39歳では60%近くになっている。一方、「内容を知っている」は39歳以下で一桁台と低く、40歳以上から高くなっているものの最も高い70歳以上でも32.6%である。「聞いたことはある」は20歳～29歳で最も高く「知らない」と同じ46.2%となっている。



(5) 職業別

職業別では、その他を除くと「知らない」が学生(56.0%)、パートタイマー・アルバイト・嘱託等(53.8%)で高くなっており50%を超えている。「内容を知っている」は家事従事者(28.6%)、無職(29.8%)、専業主婦(夫)(28.0%)で高く、その他を除くと学生(8.0%)、パートタイマー・アルバイト・嘱託等(12.8%)で低くなっている。「聞いたことはある」は、会社経営者(家族以外を雇っている)が最も高く66.7%であるが、「内容を知っている」は0%となっている。

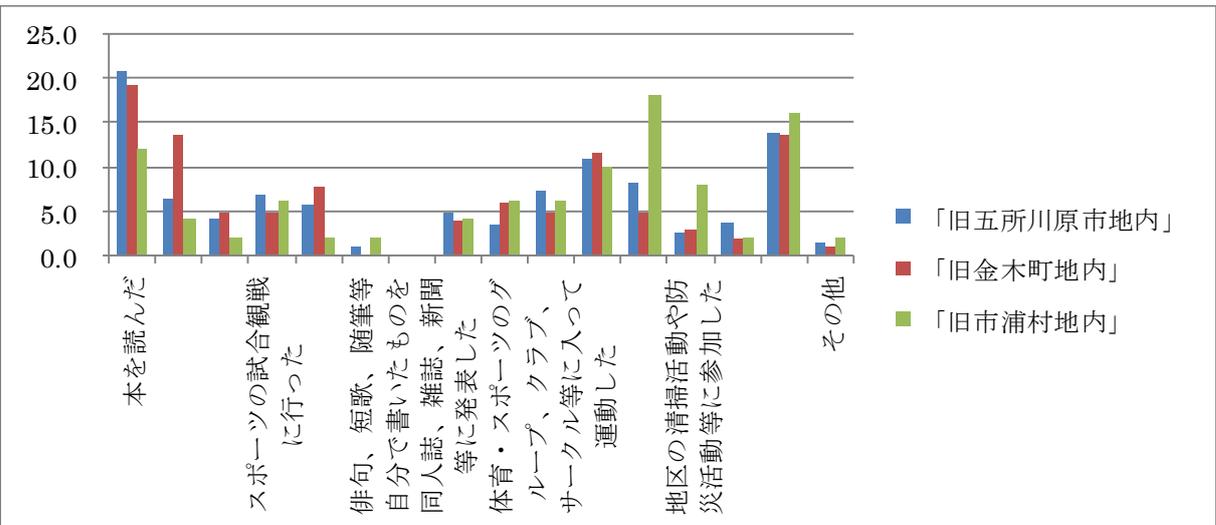


2 社会教育活動に関する情報について

①問6 次の活動の中で、あなたがこの1年間に積極的に行ったものはありますか。主なものに3つまで、番号に○印をつけてください。

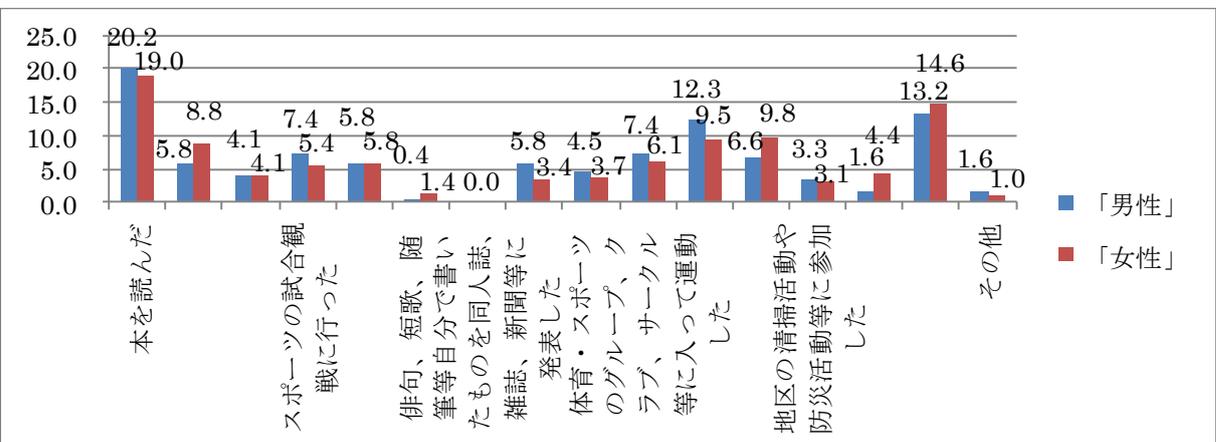
(1) 地区別

地区別では、「旧五所川原市地内」が、本を読んだ(20.6%)、健康のため、自分1人で何か運動を続けた(10.7%)が高く、「旧金木町地内」では、本を読んだ(19.2%)、音楽会、演劇(芝居)、舞踊等の会に行った(13.5%)、健康のため自分1人で何か運動を続けた(11.5%)が高く、「旧市浦村地区」では、地区の祭りや体育祭・文化祭等に行った(18.0%)が最も高く、次いで本を読んだ(12.0%)が高くなっている。展覧会や文化祭等に自分の作品を出品したは「旧金木町地内」では0%となっており、俳句、短歌、随筆等自分で書いたものを同人誌、雑誌、新聞等に発表したは、3地区共に0%となっている。



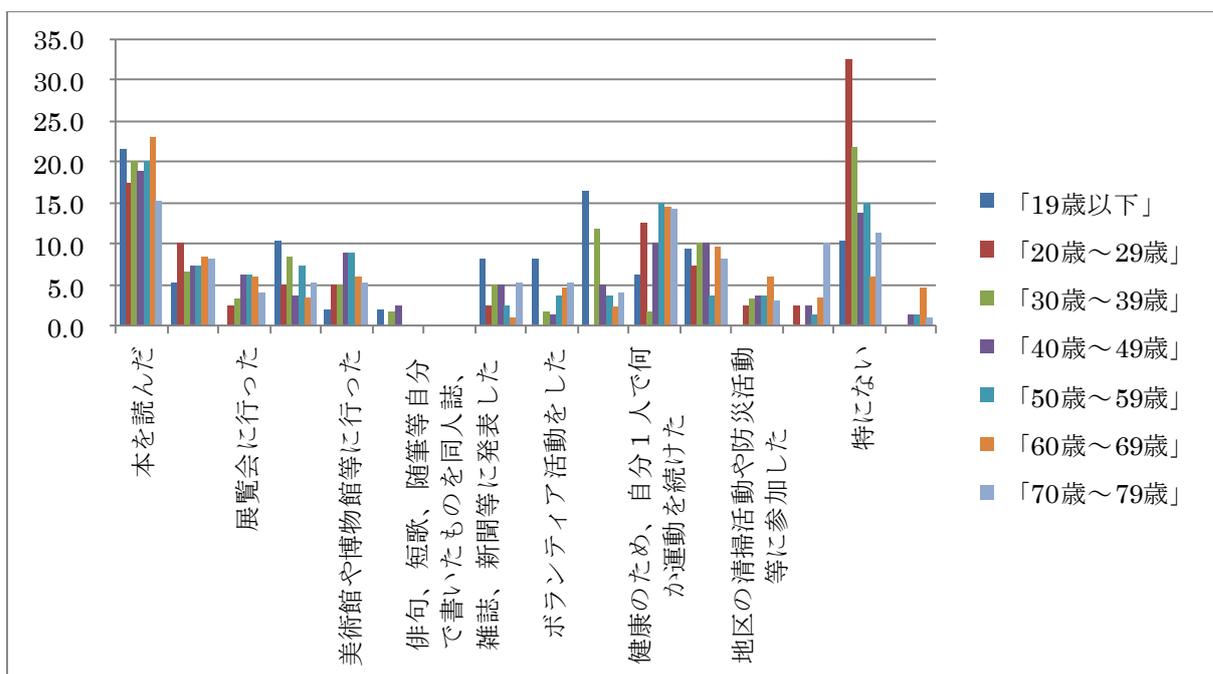
(2) 男女別

男女別では、「男性」、「女性」共に本を読んだ(男20.2%、女19.0%)が最も高くなっている。次いで、「男性」では健康のため、自分1人で何か運動を続けた(12.3%)、「女性」では地区の祭りや体育祭・文化祭等に行った(9.8%)が高くなっている。展覧会や文化祭等に自分の作品を出品した(男0.4%、女1.4%)が低くなっており、俳句、短歌、随筆等自分で書いたものを同人誌、雑誌、新聞等に発表したは、「男性」、「女性」共に0%となっている。また、「男性」では、健康のため、自分1人で何か運動を続けたが「女性」を2.8%、個人やグループ・団体でスポーツの大会に出場したが2.4%上回っている。「女性」では、地区の祭りや体育祭・文化祭等に行ったが「男性」を3.2%、音楽会、演劇(芝居)、舞踊等の会に行ったが3.0%上回っている。



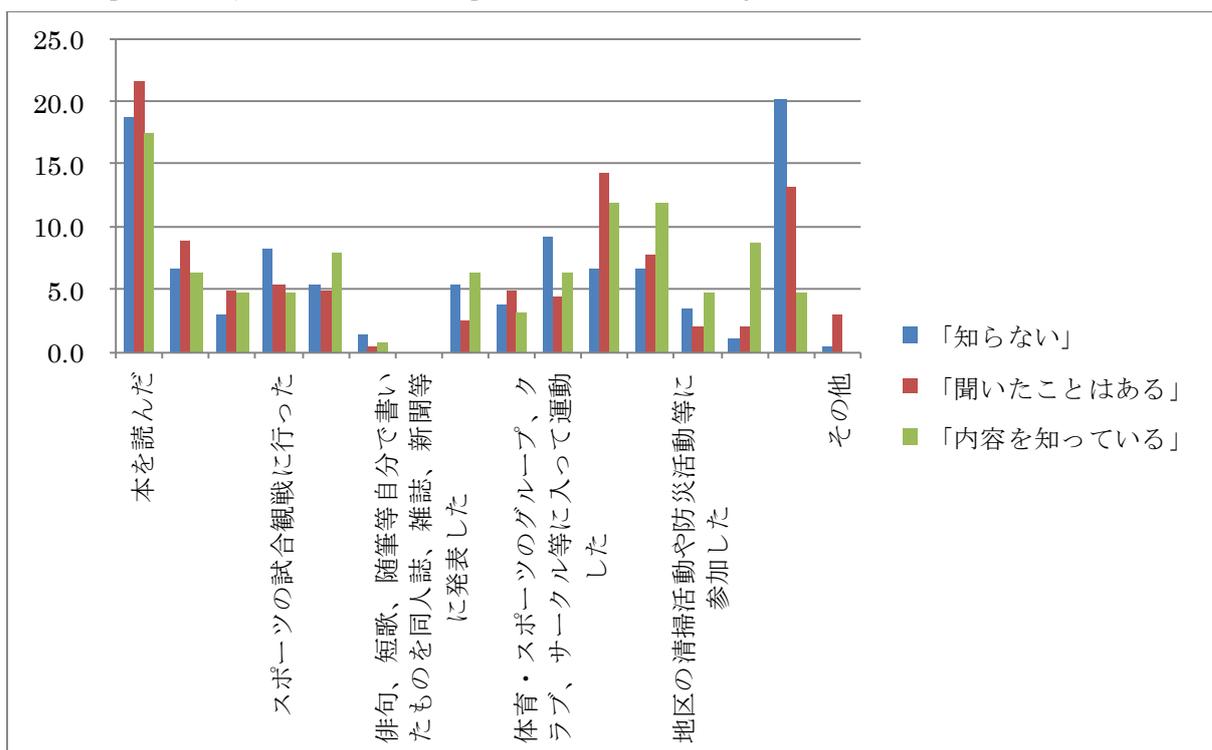
(3) 年齢別

年齢別では、全年齢において本を読んだが高く、「60歳～69歳」が最も高く22.9%となっている。次いで、「19歳以下」では、体育・スポーツのグループ、クラブ、サークル等に入って運動した(16.5%)が高く、「30歳～39歳」では、体育・スポーツのグループ、クラブ、サークル等に入って運動した(11.7%)が高くなっている。それ以外の年齢では、健康のため、自分1人で何か運動を続けた(「20歳～29歳」12.5%、「40歳～49歳」10.0%、「50歳～59歳」15.0%、「60歳～69歳」14.5%、「70歳～79歳」14.3%)が高くなっている。展覧会や文化祭等に自分の作品を出品したは、「19歳以下」、「30歳～39歳」、「40歳～49歳」で最も低く、それ以外の年齢では0%となっている。また。「20歳～29歳」では、ボランティア活動をした、体育・スポーツのグループ、クラブ、サークル等に入って運動したが共に0%となっている。



(4) 認知度別

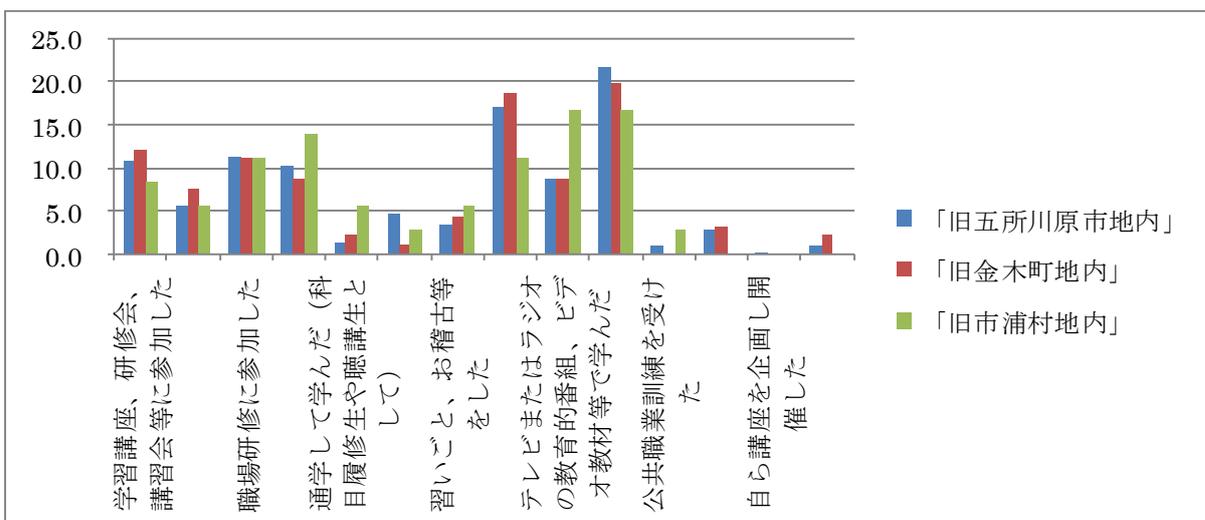
認知度別では、いずれも本を読んだが高くなっている。「知らない」は、体育・スポーツのグループ、クラブ、サークル等に入って運動した(9.1%)が最も高く、次いでスポーツの試合観戦に行った(8.2%)が高くなっている。「聞いたことはある」は、健康のため、自分1人で何か運動を続けた(14.2%)が最も高くとなっており、次いで、音楽会、演劇(芝居)、舞踊等の会に行った(8.8%)が高くなっており、健康のため、自分1人で何か運動を続けたは「知らない」を7.5%、「内容を知っている」を2.3%上回っている。「内容を知っている」では、健康のため、自分1人で何か運動を続けた(11.9%)と地区の祭りや体育祭・文化祭等に行った(11.9%)が最も高く、次いで子ども会、青年団、女性団体、老人クラブ等の地域の団体活動に参加した(8.7%)が高くなっており、「知らない」を7.7%、「聞いたことはある」を5.7%上回っている。



②問7 あなたはここ1年間に、何かを学習しようと思ひ次のような活動をしましたか。主なものに3つまで、番号に○印をつけてください。

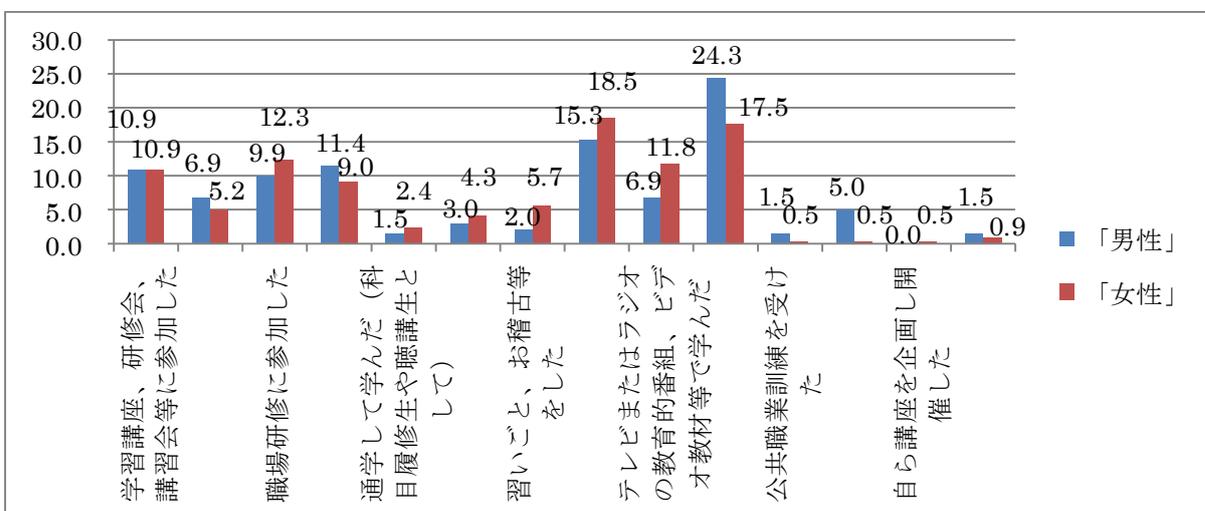
(1) 地区別

地区別では、3地区（五21.7%、金19.8%、市16.7%）共にインターネットで調べて学んだが、また、「旧市浦村地内」では、テレビまたはラジオの教育的番組、ビデオ教材等で学んだ（16.7%）が、併せて、最も高くなっている。次いで「旧五所川原市地内」と「旧金木町地内」では、本を読んで学んだ（五17.0%、金18.7%）が、「旧市浦村地内」では、職場研修に参加した（11.1%）と本を読んで学んだ（11.1%）が高くなっている。「旧五所川原市地内」では、自ら講座を企画し開催した（0.3%）が最も低く、「旧金木町地内」と「旧市浦村地内」では0%となっている。また、「旧金木町地内」では公共職業訓練を受けた、「旧市浦村地内」では、資料、文化財等を見に行つて学んだが共に0%となっている。



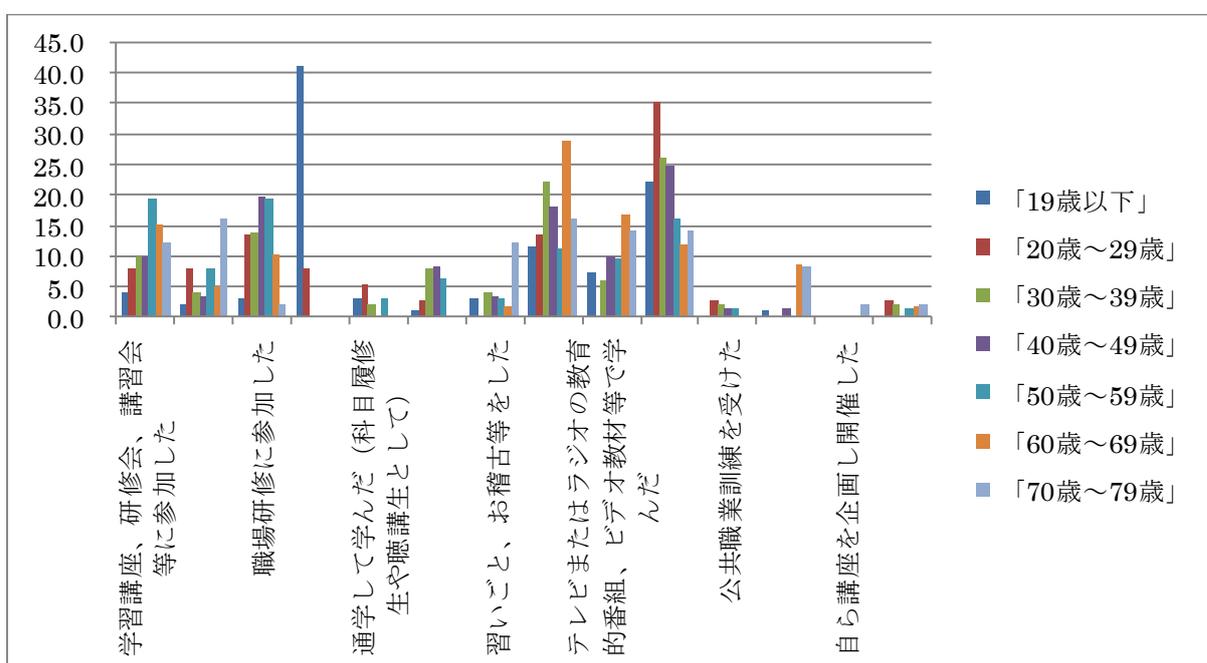
(2) 男女別

男女別では、「男性」では、インターネットで調べて学んだ（24.3%）が、「女性」では、本を読んで学んだ（18.3%）が最も高く、次いで「男性」では、本を読んで学んだ（15.3%）が、「女性」では、インターネットで調べて学んだ（17.3%）が高くなっている。「男性」では、インターネットで調べて学んだが「女性」を6.8%、資料、文化財等を見に行つて学んだ（男5.0%、女0.5%）が4.5%上回っている。「女性」では、テレビまたはラジオの教育的番組、ビデオ教材等で学んだが「男性」を4.9%、習いごと、お稽古等をしたが3.7%上回っている。



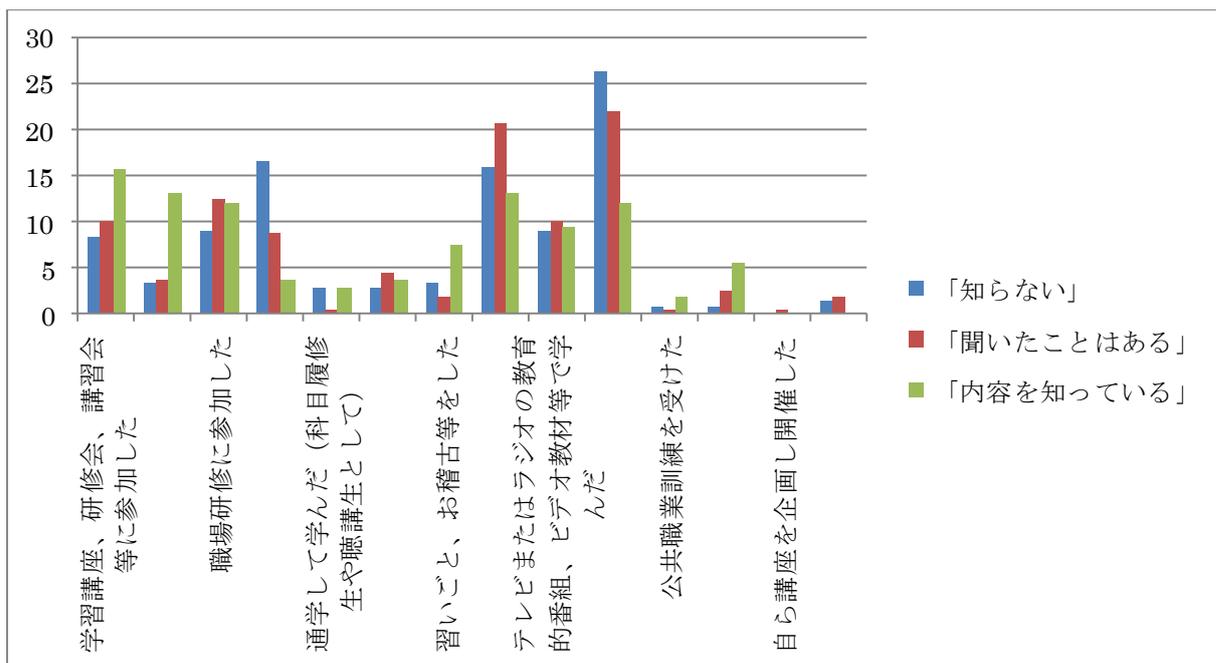
(3) 年齢別

年齢別では、通学して学んだを除くと「40歳～49歳」以下で、インターネットで調べて学んだ（「19歳以下」21.7%、「20歳～29歳」35.1%、「30歳～39歳」26.0%「40歳～49歳」24.6%）が最も高く、また、「20歳～29歳」以上「50歳～59歳」以下では、職場研修に参加した（「20歳～29歳」13.5%、「30歳～39歳」14.0%、「40歳～49歳」19.7%、「50歳～59歳」19.4%）が次に高くなっており、「60歳～69歳」以上では、本を読んで学んだ（60歳～69歳）28.8%、70歳～79歳）16.3%）が、また、「50歳～59歳」では、学習講座、研修会、講習会等に参加した（9.4%）、が、「60歳～69歳」では、テレビまたはラジオの教育的番組、ビデオ教材等で学んだ（16.9%）が、「70歳～79歳」では、講演会、学習イベント等に参加した（16.3%）が高くなっている。資料、文化財等を見に行き行って学んだが、「20歳～29歳」、「30歳～39歳」、「50歳～59歳」で0%、「19歳以下」で1.1%、「40歳～49歳」で1.6%となっているが、「60歳～69歳」では8.5%、「70歳～79歳」では8.2%と高くなっている。



(4) 認知度別

認知度別では、「知らない」、「聞いたことはある」では、インターネットで調べて学んだ（「知らない」(26.2%)「聞いたことはある」(21.9%)）が最も高く、「内容を知っている」では、学習講座、研修会、講習会等に参加した（15.7%）が最も高くなっている。次いで、通学して学んだ（正規の学生として）を除くと、本を読んで学んだ（「知らない」(15.9%)「聞いたことはある」(20.6%)「内容を知っている」(13.0%)）がいずれの区分でも高くなっており、「内容を知っている」では、講演会、学習イベント等に参加した（13.0%）も同じく高くなっている。また、「知らない」(3.4%)、「聞いたことはある」(3.8%)を10%近く上回っている。



3 これからの社会教育活動における課題について

(1) 地域コミュニティの変質

社会教育行政は、歴史的には、自治会、町内会、婦人会、青年団等の地縁組織といった伝統的な地域コミュニティに大きく依存して展開されてきました。これらの地域コミュニティは、住民と行政をつなぐ中間的な組織・団体として、生活に関する相互扶助、伝統文化の維持、地域課題の解決などの機能を果たしてきました。

産業構造の変化、人口の大規模移動、都市化・過疎化、価値観の多様化など社会経済環境が変化する中で、人々の生産と生活の場は分離し、地縁的な協働の必要性が減少してきました。これにより、地域における人のつながりや連帯感、支え合いの意識が希薄化し、若い世代の加入率や結成率が低下するなど、地縁組織による伝統的な地域コミュニティの機能は低下しました。その一方で、NPOやボランティア団体など、地域を限定することなく、特定の目的・テーマのもと活動を行う新たな地域づくりの担い手が登場し、その活動が活発化してきています。

このように地域コミュニティが変質する中で、地縁組織は、自ら活動や組織運営の在り方について積極的に変革に取り組むとともに、NPOやボランティア団体など地域における様々な課題について活動する組織と相互に連携を図っていく必要があります。また、伝統的な地域コミュニティに大きく依拠してきた社会教育行政も、地域において住民が一定の連帯感を創出することを支援し、地域づくりの担い手となる地域住民を育成する人づくりの役割を担うとともに、社会全体が発展していく持続可能なシステムの構築を図っていくことが求められています。

(2) 多様な主体による社会教育事業

近年、新たな社会的課題や地域課題が増大し、その課題解決のための学習の必要性から、地域住民の行う学習活動は広範多岐にわたって行われるようになってきています。このような中、社会教育担当部局以外で行われている普及啓発事業、NPOなどの活動、大学等の高等教育機関における公開講座の開設や学生等による社会貢献活動の推進、民間事業者における教育事業などが、質・量ともに広がりを見せており、このことは、社会のあらゆる場で行われる組織的な教育活動である社会教育が拡充したという一面も有しています。

依然として多くの地方公共団体では、公民館等の社会教育施設における講座等の実施を中心とした社会教育担当部局で完結した「自前主義」から脱却できておらず、多様な主体による社会教育事業との連携・協働を図っていくことが求められています。

(3) 社会教育の推進

全国的な人口減少、少子高齢化は、急速に進んでおり、このため、子育て支援、学校教育の支援、子どもの自律・自立支援、高齢者の社会参画支援等が課題となっています。本市においても例外ではなく、その解決には社会教育の推進が不可欠となっています。

今回の調査による「社会教育の認知度」は、「知らない」が42.6%、「聞いたことはある」が37.7%、「内容を知っている」が19.7%となっており、「知らない」と「聞いたことはある」を合わせると80.3%となっていました。また、2社会教育活動に関する情報について「何かを学習しようと思いつきの活動をしましたか。」では、「知らない」、「聞いたことはある」が最も高くなっており、「内容を知っている」では、学習講座、研修会、講習会等に参加した(15.7%)が最も高くなっていました。

こういった状況の中、社会教育計画を円滑に推進するための方策として、計画内容及び事業内容の周知を図っていくことが最も重要な施策であると思われます。